

平成27年度 有老協サービス第三者評価結果

ホームID	ホーム名	法人名	評価日
2732	せらび恵比寿	(株)日本ケアリンク	H28.1.13
有老協HPでの評価結果公表希望		有	
評価機関	特定非営利活動法人福祉経営ネットワーク		

評価結果

スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価	スケールNo.	自己評価	機関評価
1.1.1	B	B	2.3.4	A	A	6.2.1	A	A
1.1.2	A	B	2.3.5	A	A	6.2.2	A	A
1.1.3	B	C	2.3.6	A	A	6.2.3	A	A
1.1.4	A	B	2.3.7	B	C	6.2.4	A	A
1.2.1	B	B	2.3.8	A	非	6.2.5	A	A
1.2.2	A	A	2.3.9	A	A	6.2.6	A	A
1.2.3	B	A	2.3.10	A	A	6.2.7	A	A
1.3.1	A	A	2.3.11	A	A	6.2.8	A	A
1.3.2	A	A	2.4.1	A	B	6.2.9	A	A
1.3.3	A	A	2.4.2	A	B	6.3.1	B	A
1.4.1	A	B	2.4.3	A	A	6.3.2	B	A
1.4.2	A	A	2.4.4	A	A	6.3.3	B	A
1.4.3	A	A	2.4.5	A	A	7.1.1	A	A
1.4.4	A	A	2.4.6	A	A	7.1.2	A	A
1.4.5	A	A	3.1.1	A	A	7.2.1	A	A
1.4.6	B	A	3.1.2	A	A	7.3.1	A	A
1.4.7	A	A	3.1.3	B	B	7.3.2	A	A
1.4.8	B	B	3.1.4	A	A	7.3.3	A	A
1.5.1	A	A	3.1.5	非	非	7.3.4	A	A
1.5.2	A	A	3.1.6	A	A	7.4.1	A	A
1.5.3	A	A	3.1.7	A	A	7.4.2	A	A
2.1.1	A	A	4.1.1	A	A	7.4.3	A	A
2.1.2	A	A	4.1.2	A	A	7.4.4	A	A
2.2.1	A	A	4.1.3	A	A	7.4.5	B	A
2.2.2	A	A	4.1.4	A	A	7.5.1	A	A
2.2.3	A	A	4.2.1	A	A	7.5.2	A	A
2.2.4	A	A	4.2.2	A	A	7.5.3	A	A
2.2.5	A	A	5.1.1	A	A	7.5.4	A	A
2.2.6	A	A	5.1.2	B	A	7.5.5	A	A
2.2.7	A	A	5.2.1	A	A	7.5.6	B	A
2.2.8	A	A	5.2.2	A	A	7.5.7	A	A
2.2.9	A	A	5.2.3	B	B	7.6.1	A	A
2.2.10	A	A	5.2.4	A	A	7.6.2	A	A
2.2.11	A	C	5.2.5	A	A	7.6.3	A	A
2.3.1	A	A	6.1.1	A	A			
2.3.2	B	B	6.1.2	A	A			
2.3.3	A	A	6.1.3	A	A			

## 評価機関の所見

### 1. 優れた取り組みと思われる点

スケール	所見
2-3-3	リーダー会議やサービス向上委員会の中で、理念実現やサービスの質向上について取り組んでいる。今年度は「日々の振り返り気づきノート」により、介護方法・言葉づかい・食事のこと・喜んでいただけたことなど6項目について、毎夕、全職員参加のミニカンファレンスの中で発表し、情報共有を図っている。他職種でも、入居者を見ることができ、入居者の希望するサービスへとつながる取り組みとして活用されている。
2-4-3	社内の「リスクマネジメント委員会」の分科会となる「安全対策委員会」において、ホーム内で想定される事故への対応と防止に取り組んでいる。ひやりはっと報告による気づきを大切にして、起こった事実だけではなく、その背景（職員や入居者の行動等）を検討して事故防止に努めている。加えて、夜間における緊急対応を想定した救急車要請対応等の手順書を作成し事故発生に備えている。
4-2-2	各種アクティビティは、企画書を立て、計画的に実施し、報告書で評価・反省を行い、次回につなげている。毎日の、はつらつ体操をはじめ、フラワーアレンジメント・ドッグセラピー・音楽療法・書道教室などを取り入れる他、クリスマス、初詣、豆まきなど季節の行事、散歩や外食イベントなど豊富に実施している。また、今年度より誕生日にフロアごとのお祝いに加え、入居者のしたいことを叶える取り組みも始めている。
7-3-1	心身の状態に合わせて、一般浴と機械浴を選定しているが、一般浴は通常のお風呂と檜のお風呂があり、希望があれば、フロアをまたいで入浴することができる。また、菖蒲湯やゆず湯などを取り入れるなどお風呂の時間を自分のペースでゆったり過ごせるよう工夫がなされている。さらに、所定時間は9:30～15:00であるが、入居者の希望になるべく応じており、22時までなど所定時間外も実施している。

### 2. さらに取り組むことで、より質の向上が可能と考えられる点

スケール	所見
1-1-3	「倫理綱領」等の規程があり、ホーム内の定期的研修においても、コンプライアンスや個人情報保護等をテーマにした研修が行われ、職員の遵法意識を高めている。しかし、消費者への適切な情報提供や消費者保護に関する法令の遵守等を定めた自主行動基準は策定されていない。今後は、自主行動基準の策定を行い、内外に公表するとともに、職員研修によりその趣旨の徹底を図られたい。
2-2-11	居室明け渡し時の原状回復義務については、入居契約書に「通常の使用に伴い生じた居室の損耗を除き居室を原状回復すること」と規定し、また、その内容は国土交通省による「原状回復をめぐるトラブルとガイドライン」によるとしている。しかしながら、その内容については明文化されておらず、詳細を記述した管理規程またはその別表等の策定が望まれる。
2-3-7	有料老人ホーム事業と介護保険指定事業の会計区分については、運営基準の中で、会計区分を行い、区分表示することが求められている。ホームの事業実績は拠点区分ごとにまとめられ、会計区分は行わず表示されている。今後は、事業内容による会計区分を行い、表示するとともに、その結果をホームページ等で公開することが期待される。
5-2-3	食事は、行事食の他、四季折々の食材を取り入れ、入居者一人ひとりに合わせた形態のものが提供されている。厨房の中では温在庫と冷蔵庫を活用し、直前にご飯や汁物をよそっている。厨房と食堂は同じ4階にあり、その場で提供ができるが、2階3階のフロアーリビングや居室で食べている入居者もあり、ワゴンで運ばれている。今後は、フロアをまたぐ場合に、保温・保冷配膳車などの活用が望まれる。